

こんにちは！

中村

あさとです

一般質問の概要

スクールソーシャルワーカー（SSW）

各校に常駐できる人員体制の拡充と、 勤務条件の改善を

不登校や暴力行為など、児童生徒の行動等の背景には、家庭など、児童生徒が置かれている環境の問題が複雑に絡み合っています。スクールソーシャルワーカーは、課題解決への対応を図るため、様々な環境への働き掛けなど、学校内における福祉の専門家として配置がすすみました。

和歌山市でも、10年程前から配置がすすめられ、昨年やっと9名のワーカーが配置されました。しかし、1日6時間、年60日という限られた時間の中で、6校から8校程度の学校を担当しています。担当する学校数も多く、それぞれの学校にワーカーが勤務していないため、スクールソーシャルワークに対する認知が進まない状況があります。

また、スクールソーシャルワークは、社会福祉の専門知識だけでは成り立たない為、難しい分野の一つとも言われます。ヤングケアラーなど困難を抱える子ども達の実態は、表面化しづらいという課題が指摘されている中で、しっかりとしたソーシャルワークが提供できる指導体制が求められています。

問：児童・生徒が基本的には必ず在籍することになる学校において、困難を抱える子ども達が見過ごされることが無いよう、人員体制の拡充をはじめ、事業の進捗を図るべき。
市長：児童生徒や保護者のかかえる課題はますます複雑化しており、早期発見、早期対応に加え、より専門的な支援が必要となってきています。今後も、「スクールソーシャルワーカー活用事業」も活用しつつ、様々な関係機関と連携しながら「こども総合支援センター」が中心となって、寄り添い型の支援を進めてまいります。



議員歴：3期9年

今議会での委員：建設企業委員、議会運営委員、
地震等災害対策特別委員、広報委員

趣味：釣り、料理

抱負等：コロナ禍を乗り越えるため、暮らしと営業を支える政治を進めます。

期日前投票所の増設、 期日前移動投票所の実施を。 全投票所に車いす対応の記載台や 車いすの設置を

期日前投票のために中央コミュニティセンターに行ったが開設されていなかった。どうして他のコミセンのように開設されていないかと相談がありました。また、ある投票所では車いす利用者の90歳を超える方が投票の際に、車いす用の記載台がなく、高さの合わない記載台を支えに立ち上がろうとした際、体重がかかり、台が傾いたためバランスを崩し、ケガはしなかったものの大変危険を感じたと話してくれました。

問：期日前投票者が回を追うごとに増える中で、期日前投票所の増設と、期日前移動投票所の実施をすべきではないでしょうか。また、投票に際し危険を感じるようなことのないよう、車いすや車いす対応の記載台を設置すべきです。

市長：投票環境の拡充に向けた取り組みについて、選挙管理委員会と協議してまいります。期日前移動投票所については、総合的に判断すると時期尚早と考えています。

選挙管理委員会委員長：これまでも選挙人や事務従事者の要望を受け、車いすや車いす用記載台、スロープの設置等、改善を図ってきたところです。今後も、事務従事者と連携を取りながら、投票環境の拡充に努めてまいります。



中村あさと市議会だより

日本共産党和歌山市会議員団

TEL 435-1113 FAX 421-4181

2022年11月 ホームページ、

Twitter、

Instagramは、

「日本共産党和歌山市議団」で検索を。
日々の各議員活動報告等を掲載しています。

日本共産党 市議会だより

9月定例議会報告

9月定例市議会が9月15日(木)～10月7日(金)までの23日間を会期として開かれました。初日は、8月24日にご逝去された宇治田清治議員を悼み黙祷を捧げました。8月の補欠選挙で当選した2名の議員の紹介後、尾花市長の3期目の所信表明が行われました。

最終日は、一般会計補正予算案や条例改正案、人事案件など議案18件と議員発議3件のすべてが原案どおり可決・同意されました。民主商工会からの請願は総務委員会で継続審査となりました。

日本共産党市会議員団は、議案18件中15件と議員発議2件に賛成。問題のある3件の議案については南畑さち代議員が、問題のある議員発議1件については森下さち子議員が、それぞれ問題点を指摘し反対討論を行いました。

一般会計補正予算の増額

90億746万2,000円を可決

こども医療費助成対象年齢を18歳まで引き上げるためのシステム改修費、物価高騰緊急支援給付金(住民税非課税世帯1世帯当たり5万円給付)、マイナンバーカード普及促進(3,000円クオカード支給)などの増額補正。

民主商工会からの請願は継続審査に

2016年に国連女性差別撤廃委員会は「日本の所得税法56条が家族従業女性の経済的自立を妨げている」と指摘し、所得税法の見直しを日本政府に勧告しています。家族従業者の働き分が給料としての必要経費として認められています。業者配偶者・夫人の働き分を正当に認められるためにも、第56条の廃止を求める意見を国に届けてください・・・という請願です。

反対討論で指摘した発議第3号の問題点(森下さち子議員)

『北朝鮮のミサイル発射に対する厳重抗議と断固たる措置及び防衛体制の強化を求める意見書』について、北朝鮮のミサイル発射に対し、強く非難し抗議するという立場は全く異論のないところですが、しかし、文案にはさらに“ミサイル対処能力の強化”や“防衛体制の強化”を求めるものとなっています。軍事的強化ではなく、国際社会は北朝鮮のミサイル問題を解決するため、外交戦略の再構築にこそ力を注ぐべきです。

反対討論で指摘した議案の問題点(南畑さち代議員)

公務労働より民間委託最優先の人件費削減には反対です。(議案第2号)

小学校給食民間委託事業、放課後児童健全育成事業(若竹学級)、第1共同調理場管理運営事業はいずれも民間への業務委託を更新する議案で、行政改革の一環として人件費を削減することが最優先されていることに賛成できません。

和歌の浦魅力向上施設整備の事業全体の検討が不明瞭です。(議案第2号)

和歌の浦周辺の観光案内、歴史文化の情報発信等の機能を備えた、拠点となる施設の整備を進めるためのものですが、取り組む姿勢に問題があり反対です。

中央卸売市場南用地への道の駅整備は不要不急の事業です。(議案第3号)

整備に係る基本計画の策定等の業務委託料ですが、今後の予定金額として約10億円とのこと。多額の費用をかけて道の駅を整備することの必要性が理解できないため反対です。

マイナンバーカード普及促進と生活支援は全く性格の違う事業です。(議案第17号)

マイナンバーカードの新規申請者と保持者に生活支援として3,000円のクオカードを支給するものですが、マイナンバーカード取得の意思のない方は支援の対象から外れることになり反対です。

日本共産党市会議員団、他の5議員の一般質問



ひめだ高宏 議員
総務委員・議会運営委員
I R誘致に関する特別委員

六十谷水管橋崩落事故の医療費補償を

問:「断水、条例で一律免責否定」の最高裁判決が出たことから、給水作業での圧迫骨折に対する医療費は補償すべきだと思うがどうですか。
答:断水による給水作業などの間接的な原因での負傷は、相当因果関係があるとは認められないことから補償の対象ではありません。



井本ゆういち 議員
総務委員会副委員長
地震等災害対策特別委員

駅にトイレ・屋根の設置を

問:JR布施屋駅と田井ノ瀬駅でトイレと屋根が撤去され、利用者からの設置の要望がありますがどうですか。
答:撤去は、車両のトイレが利用でき、駅の利用状況やコスト削減の観点からもやむを得ません。設置は、本来それを所有する鉄道事業者が実施するものと考えます。



さかくち多美子 議員
厚生委員会副委員長
広報委員

命を守る保健医療体制の強化を

問:コロナの感染爆発で保健所や医療がひっ迫し、入院が必要な病状でも入院できない事態が本市でも起こりました。市民の命を守るため、保健医療体制の抜本的強化を進めるべきではないですか。
答:地域の実情に応じた保健医療体制となるよう関係団体を通じて国に要望します。



森下さち子 議員
経済文教委員
I R誘致に関する特別委員

旧統一協会に関わる問題は現在進行形

問:旧統一協会や関連団体が大問題となる中、本市でも関連団体の行事に当時の副市長が表敬訪問に応じていたことから、全庁的に調査するべきではないですか。
答:行政の長としてかわりを持たないようにすべき団体です。全庁的に調査します。



南畑さち代 議員
建設企業委員

和歌山城ホールのバリアフリー化 早急に改善を

問:歩道から玄関前への誘導ブロックの途切れ、平日の総合案内は無人など多くの問題があります。今後、当事者の意見を反映する市独自の条例が必要ではないですか。
答:条例によらず市独自の基準で推進してきました。今後も基準をさらに徹底していきます。



和歌山市役所14階にて

撮影時のみマスクを外しています